



# 2023年6月期第3四半期 決算のご説明

---

2023年5月12日

株式会社キャンバス  
東証グロース 4575

# 決算と財務の状況

---

# 2023年6月期3Qの業績 (1-1)損益計算書

## 2023年6月期第3四半期損益計算書のポイント

### ➤引き続きCBP501臨床開発で先行投資赤字を計上

- ✓ 事業費用699百万円の内訳：基礎研究費\*1 135百万円・臨床開発費\*2 375百万円・販管費188百万円  
基礎研究費・販管費には大きな変動なし。臨床開発費（CBP501臨床試験費用）が主な増減要因

### ➤事業収益計上に至らず

	2023年6月期3Q累計期間				注
		1Q会計期間	2Q会計期間	3Q会計期間	
事業収益 (売上高)	—	—	—	—	
営業利益	△699 百万円	△313 百万円	△238 百万円	△148 百万円	CBP501臨床第2相試験費用のピーク越え
経常利益	△710 百万円	△322 百万円	△240 百万円	△148 百万円	
四半期純利益	△711 百万円	△322 百万円	△239 百万円	△150 百万円	

\*1 共通の人員・設備・消耗品等が多数あるため、基礎研究段階のプロジェクト個別の費用内訳は算出していません。

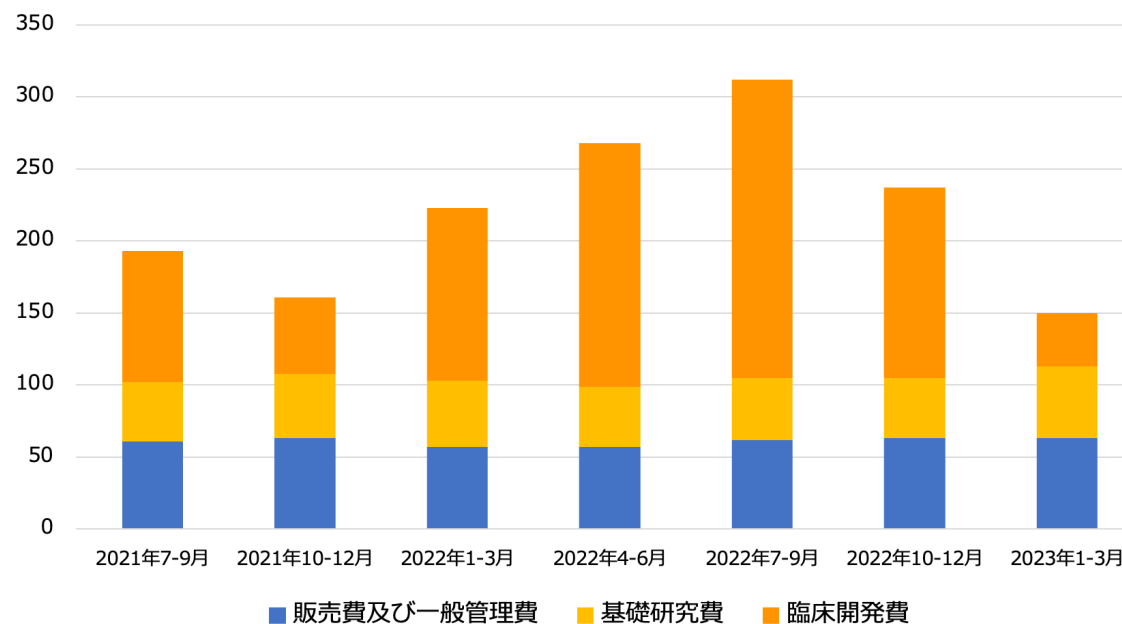
\*2 臨床開発費は全額がCBP501関連の費用です。CBS9106など他のパイプラインに関する開発費は現在ありません。

# 2023年6月期3Qの業績 (1-2)四半期事業費用の推移

## 事業費用の推移

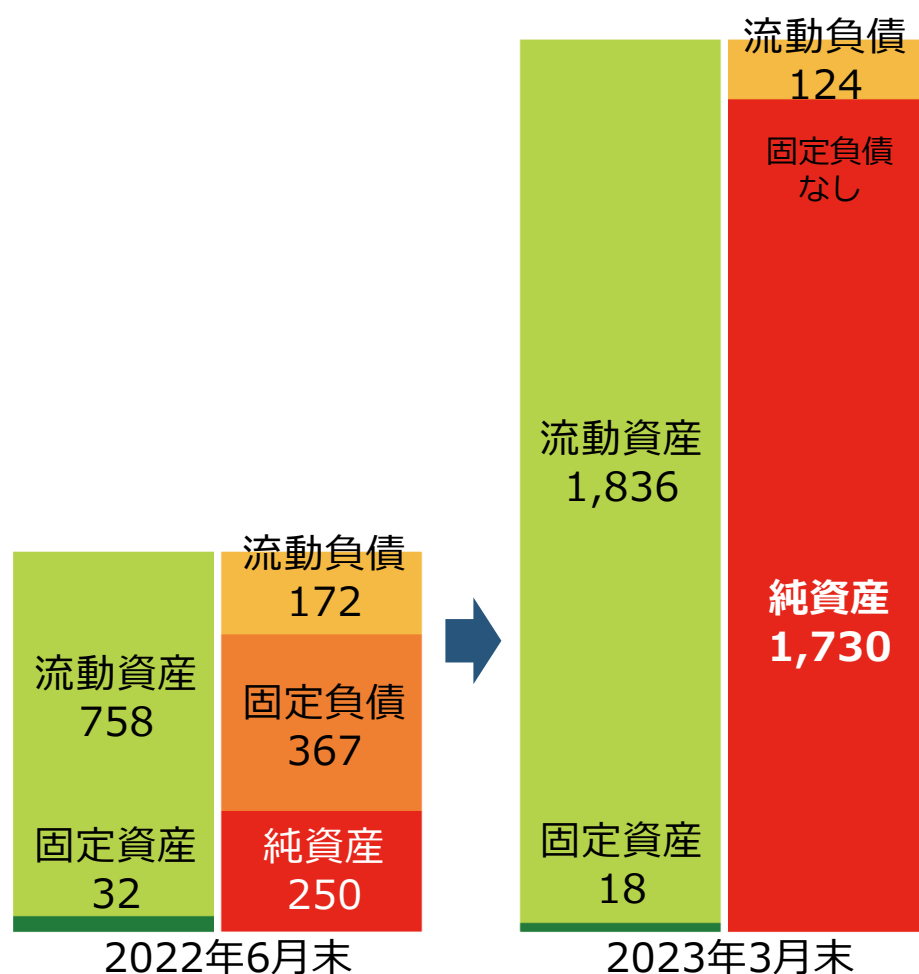
- ✓ 基礎研究費・販管費はほぼ変動なく、臨床開発費の変動がメイン
- ✓ CBP501臨床第2相試験費用は1Qにピークとなり、その後漸減。第3相試験費用の計上は4Q以降に

事業費用の内訳 四半期推移 (単位：百万円)



\*1 共通の人員・設備・消耗品等が多数あるため、基礎研究段階のプロジェクト個別の費用内訳は算出していません。  
\*2 臨床開発費は全額がCBP501関連の費用です。CBS9106など他のパイプラインに関する開発費は現在ありません。

## 2023年6月期3Qの業績 (2)貸借対照表の推移



### 2022年6月期末からの主な変化 (単位：百万円)

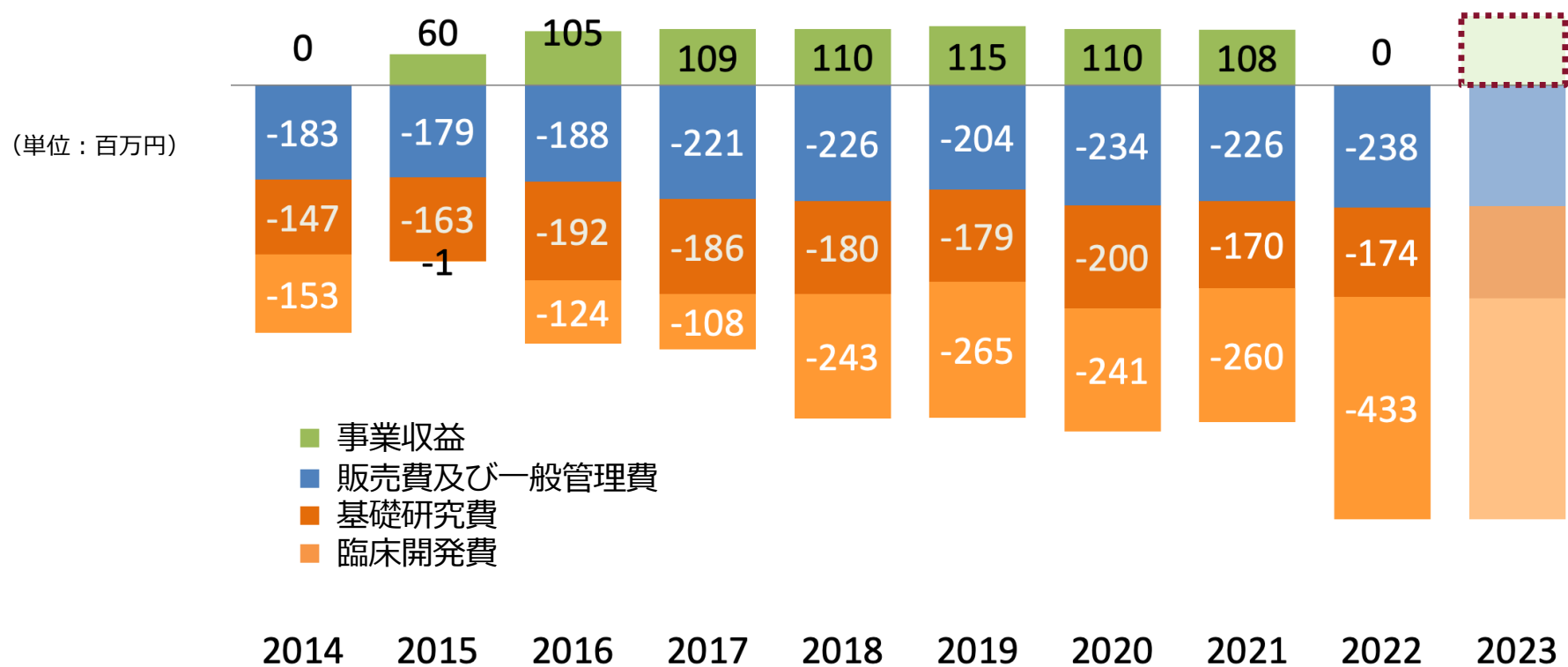
- ▶ 流動資産 758 → 1,836
  - ✓ 現預金 737 → 1,380
    - 新株予約権行使・転換社債転換 1,791
  - ✓ 前渡金 — → 379
    - 第3相試験準備開始
- ▶ 固定負債
  - ✓ 転換社債 367 → —
- ▶ 純資産 250 → 1,730

前四半期までに健全化した  
財務状況を維持 + 前進

# 2023年6月期の通期業績予想 (1)業績見通し非公表

引き続き不確定要因が多く、業績見通し非公表としています

- ✓ 事業収益・・・提携獲得実現に向け活動継続
- ✓ 事業費用・・・臨床第2相試験の進捗と今後の展開で研究開発費が大きく変動



### 新規提携等による事業収益獲得に向けた取り組み

#### ➤ CBP501

- ✓ 国内外製薬企業等との交渉折衝を重ねているが、提携成立には至らず
- ✓ 注目を集める領域以外での提携に製薬企業等が消極的な傾向が継続、自社開発に舵を切る創薬企業がさらに増加
  - ただし後期開発終盤の提携市場は引き続き活況
- ✓ 提携の形（アウトライセンス、共同開発、薬剤提供…）を限定せず交渉を継続

#### ➤ その他のプロジェクト

- ✓ 前臨床試験直前のもの：早期アライアンスによる収益獲得を図る
- ✓ 基礎研究段階のもの：リード化合物獲得やコンセプト検証へ

# 創薬パイプラインの状況

---



# 臨床開発段階にある2つの化合物 サマリー

## 免疫着火剤 CBP501

- 臨床第2相試験（膵臓がん3次治療）：**主要評価項目達成し早期終了を決定。第3相試験へ**
  - ✓ 3剤併用投与群の両方で各4例の3ヶ月無増悪生存ステージ1で**早期有効中止**（2022年11月1日公表・11月17日公表）
  - ✓ 全群でステージ2をスキップし**第3相試験**へ向かうことを決定（2022年11月28日公表）
- 米国FDAから膵臓がん対象の**オーファンドラッグ指定受領**（2023年1月27日公表）
- **データカットオフ**実施（2023年4月17日公表）
- 現在、臨床第3相試験の開始に向けて米国FDAとの協議・すり合わせが進行中

**第3相試験の開始準備とアライアンス獲得活動を続けています**

## 可逆的XPO1阻害剤 CBS9106 (Felezonexor)

- 提携先Stemline社による米国**臨床第1相試験完了**（2022年2月14日）

**XPO1阻害剤のベスト・イン・クラスを目指し次相試験が計画されています**

# がん免疫に着目したパイプライン戦略

## 中長期の企業価値の源泉として重視

	探索・創出	最適化	前臨床試験	臨床試験	提携・導出 共同研究
<b>CBP501</b>				第2相試験 主要評価項目達成・データ取得完了 第3相試験開始へ準備進行中	
<b>CBS9106</b>	前臨床試験終了し導出済み			第1相試験完了	Stemline社
<b>CBP-A08</b> CBP501の系譜に属する ペプチド型免疫系抗がん剤	最適化終了				
<b>NEXTプロジェクト</b> がんの「治癒」を目指す 免疫系抗がん剤 (CBP-Bシリーズと統合)	CBT005				
<b>IDO/TDO阻害剤 ほか*</b>					静岡県立大学 ほか

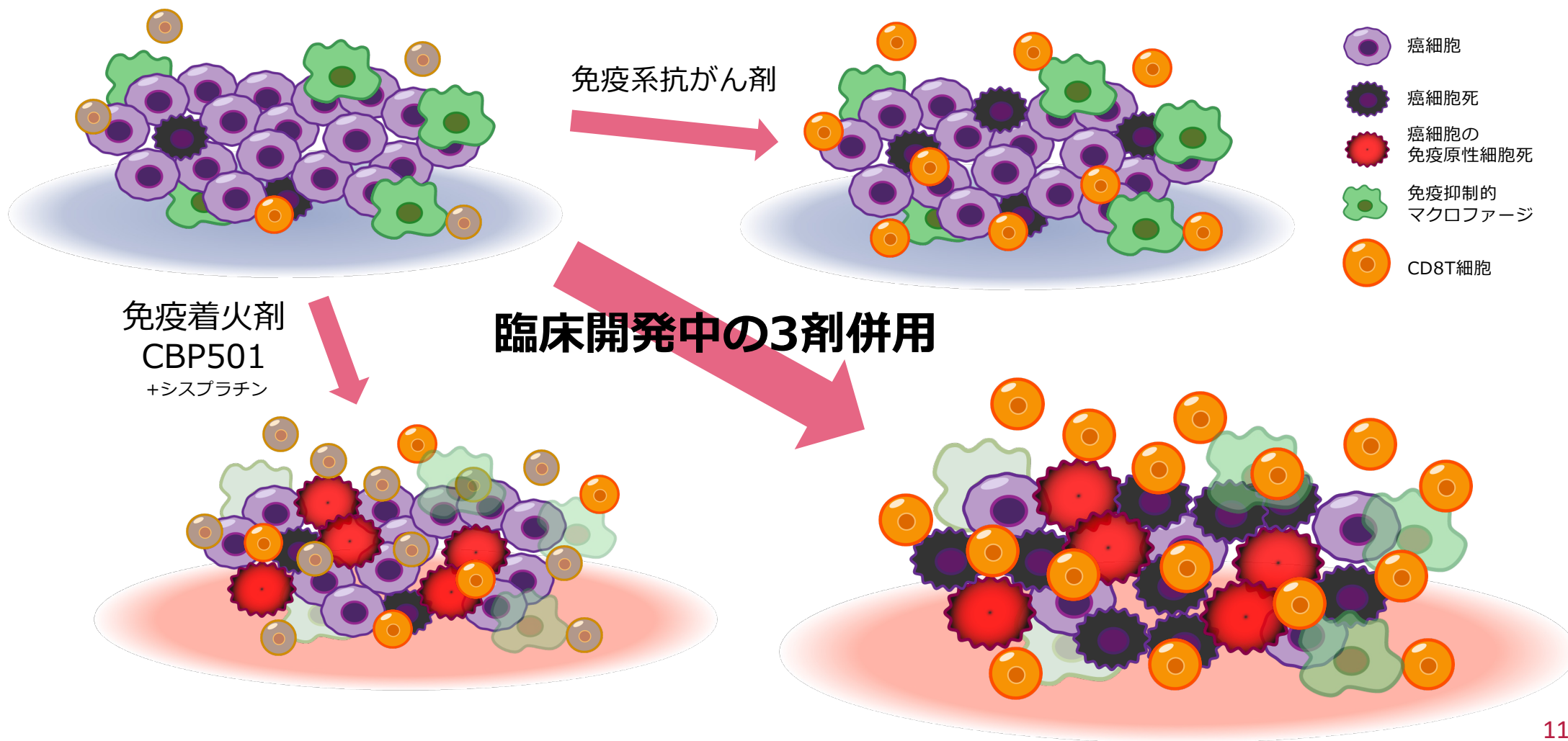
※ 上記のほか、がん免疫領域で広く基礎研究を展開しています。

※ IDO/TDO二重阻害剤は、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）新規治療薬としての研究も継続（2020年8月4日公表）

現在最も先行し注力しているパイプライン  
免疫着火剤 CBP501

---

# CBP501の3剤併用で免疫系抗がん剤を効きやすくする



## 米国FDAとの協議

- CBP501臨床第3相試験の開始に向け、FDAとの協議・すり合わせを進めています
- 具体的な協議の内容や進展の段階・見通しなどについては、公表可能な限り随時公表します

## 関連準備作業

- FDAとの協議に並行し、関連する準備作業を進めています
  - ✓ 使用する薬剤の準備
  - ✓ CROとの契約 ほか
- 開始までの期間の圧縮によって、今後のスケジュールへの影響を最小化する狙い

# キャンバスを知る情報源

---

- ウェブサイト <https://www.canbas.co.jp>
- Twitter公式アカウント <https://twitter.com/canbas4575>
  - フォロワー5,000人突破。主に個人投資家向けの情報発信/Q&Aチャネルとして定着
- アナリストレポート
  - フェアリサーチ 2023年3月15日最新版  
『[CBP501少なくとも500億円のパイプライン価値](#)』
  - シェアードリサーチ（随時更新）  
<https://sharedresearch.jp/ja/4575>
- TV・インターネット番組等出演
  - アイロゴス主催 櫻井英明WEB株式講演会&企業IRセミナーなど  
[2022年10月5日配信](#)（河邊出演）  
[2023年1月11日配信](#)（加登住出演）



■将来見通し等に関する注意事項

- ▶ 本資料は、当社に関する情報の提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- ▶ 本資料における将来予想・見通し等に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。
- ▶ 業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- ▶ 本資料は、受領者がいかなる目的にご利用される場合においても、本資料受領者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示するものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

■お問い合わせ先： 株式会社キャンバス 管理部 IR担当  
Email IR@canbas.co.jp